

# 連携室たより

第 56 号

平成 25 年 4 月 1 日  
出雲市姫原 4 丁目 1 番地 1  
島根県立中央病院 地域医療連携室  
医療連携・医療相談科

TEL 0853-30-6500

FAX 0853-30-6508



## 皮膚科紹介

皮膚科部長 辻野 佳雄

当院皮膚科は医師 4 名の体制で日々の診療を行っていますが、疾患の種類も大変豊富であります。日常診療においてはアトピー性皮膚炎、蕁麻疹、掻破性湿疹、疣贅、薬疹、皮膚細菌感染症、皮膚真菌症、ヘルペスなどで受診する患者さんが多いのですが、なかには通常の治療に反応しない難しい症例や重症例に悩まされることもあります。入院加療を要する疾患は蜂窩織炎、ヘルペスなどの急性感染症と類天疱瘡などの水疱症が多いようです。

また粉瘤、色素性母斑、脂漏性角化症、脂肪腫、日光角化症などの皮膚外科的疾患の治療も積極的に行っており、手術件数は平成 21 年度は年間 152 例、平成 22 年度 167 例、平成 23 年度 160 例に至っています。専門性の高い疾患としてはメラノーマ、有棘細胞癌、基底細胞癌、Bowen 病、Paget 病、水疱症などがあげられ、平成 21 年度にはメラノーマ 3 例、有棘細胞癌 6 例、基底細胞癌 4 例、Bowen 病 3 例、Paget 病 2 例、平成 22 年度はメラノーマ 1 例、有棘細胞癌 2 例、基底細胞癌 6 例、Bowen 病 5 例、Paget 病 1 例、平成 23 年度はメラノーマ 3 例、有棘細胞癌 8 例、基底細胞癌 2 例、Bowen 病 5 例、Paget 病 1 例がみられました。

皮膚悪性腫瘍においては生検して診断を確定し、多くの例では手術療法を行っています。水疱症は自己免疫性水疱症のみの診断と治療にあたり、一般的な治療の他に、比較的副作用の低い治療法も試みています。

そして入院中の褥瘡患者は週 1 回の褥瘡回診にて指導、処置するようにしています。こうしたなかで院内他科からの患者紹介も徐々に増えてきたようです。

また開業医との交流にも力を入れており、他医院からの紹介も増加しつつあります。ベストの医療を患者に提供するために、今後さらに地域開業医との親交も深めていきたいと考えています。



当院東側駐車場付近の満開のさくら

## がん相談支援センターの紹介

「がん相談支援センター」は全国の「がん診療連携拠点病院」に設置されているがんに関する相談窓口です。

当院は「地域がん診療連携拠点病院」に指定されており、医療連携・医療相談科が「がん相談支援センター」の窓口としてがん相談の業務を担っています。そして、がん相談は研修を受けた相談員や看護師等が電話・面接で相談を受けています。

### 《がん相談支援センターの業務》

- がんの病態、標準的治療法等がん診療及びがんの予防・早期発見等に関する一般的な情報の提供
- 診療機能、入院・外来の待ち時間及び医療従事者の専門とする分野・経歴など、地域の医療機関及び医療従事者に関する情報の収集、提供
- セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介
- がん患者の療養上の相談
- 地域の医療機関及び医療従事者等におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供
- アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談
- HTLV-1 関連疾患である ATL に関する医療相談
- その他相談支援に関すること

厚生労働省「がん診療連携拠点病院の整備に関する指針」より

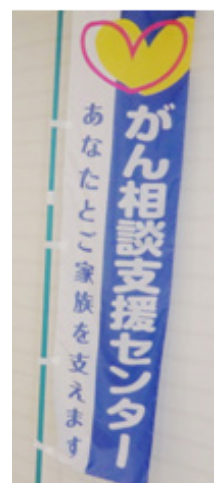
調査によると「がん相談支援センター」は全体的に認知度が低く、当院の場合の相談支援センター利用者は通院・入院中の方の利用が主な対象となっている現状ですが、がんに関する相談であれば治療医療機関や対象者を問わず、どなたからでも相談をお受けしています。

当院医療連携・医療相談科で対応している相談件数のうち約 1 割はがんに関する相談となっています。

当院での相談の多くは療養上の問題が約半数を占めており、一度の面接場面では解決できない場合があります。

内容によって医師・認定看護師・薬剤師等院内スタッフや、かかりつけ医、訪問看護師、ケアマネジャーといった地域の専門職と連携しながら相談者の問題解決できるよう支援しています。

島根県内根大学付属病院、地域がん診療連携拠点病院に指定されている松江赤十字病院、松江市立病院、浜田医療センターにも「がん相談支援センター」が設置されています。



がんまつわる不安などを相談したい方がいらっしゃいましたら、最寄りの相談支援センターをご紹介します。

(各医療機関の連絡先等は別紙リーフレットをご覧ください)



島根県立中央病院がん相談支援センター（医療連携・医療相談科内）

◆連絡先：0853-30-6500 ◆相談時間：平日 9:00～16:00

文責 萬代 由喜子

## 地域医療連携室（医療連携・医療相談科）の役割

地域医療連携室長 岩成 治

当院は「5 疾病（がん・脳卒中・心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）5 事業（災害・救急・周産期・小児・へき地医療）」を中心とした急性期医療に特化した医療を担っています。そのために救命救急機能やドクターヘリ機能などを充実させ、回復期リハ病棟や人間ドック機能は中止して他の医療機関にお願いしています。さらなる急性期病院の質の向上のため、外来化学療法室の拡充、外来感染症室の新設、心臓カテーテル検査室の増設を行い、急性期疾患の受け皿の拡充を行いました。しかし、入院患者さんの回転をよくしないと急性期の患者さんを受け入れることはできません。急性期を過ぎた入院患者さんの受け入れ先を探してお願いし、地域完結型医療を遂行させるのが地域医療連携室の役割の一つです。最近では、地域連携クリニカルパス、医療情報ネットワーク「まめネット」を利用し、さらなる連携体制強化をお願いしているところです。

今後、さらに病院内情を広報し、当病院を支えていただいている連携先の皆さんと情報交換し、スムーズな連携に努力いたします。ご協力をよろしくお願いいたします。



平成 25 年 4 月から、医療連携・医療相談科はこのメンバーでスタートします。

室長(医師) 室長補佐(看護師)

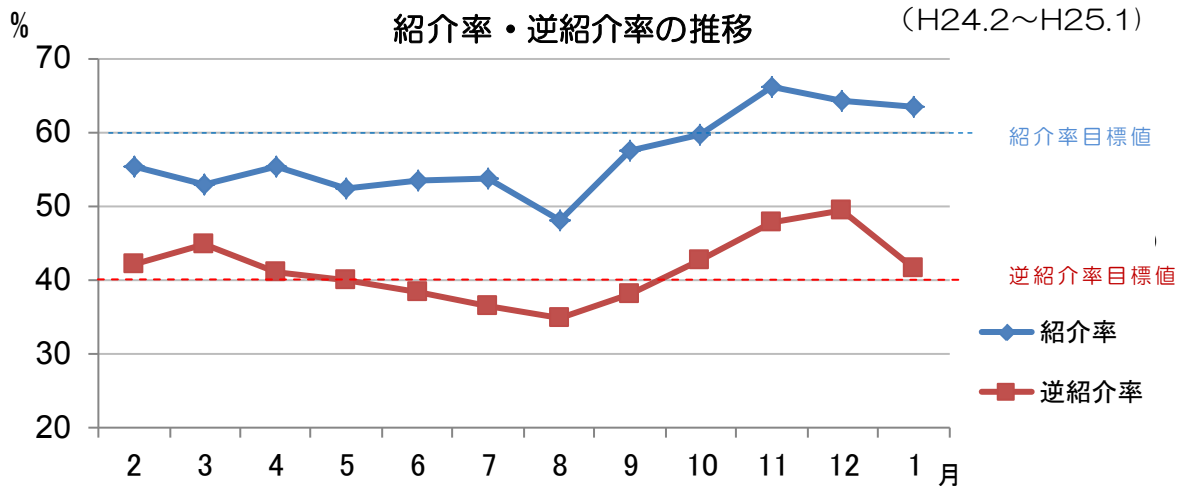
科長(社会福祉士)

社会福祉士 8 人

退院調整看護師 2 人 事務職 2 人

## 地域医療連携の状況

日ごろは患者さんのご紹介をいただきありがとうございます。  
紹介率・逆紹介率を上げて、地域との連携を深めていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



H24年12月～H25年2月の紹介件数、ネット・FAX利用状況をお知らせします。

紹介件数、ネット・FAX利用状況

	紹介件数	ネット・FAX利用状況 (内数)		
		※医療ネット しまね	FAX予約	
			診療	検査
平成24年12月	1,151	116	211	86
平成25年1月	1,267	131	257	78
2月	1,262	137	263	73

※平成24年12月17日からは、しまね医療情報ネットワーク「**まめネット**」の利用状況です。

**“患者さんが主人公” 当院の基本理念です！！**

島根県立中央病院医療方針

地域から信頼される、患者さんと医療職員の  
人と人、心の心のふれあいのある  
患者さんサイド 県民サイドの 医療の実践